

# Aさん 40歳 男性 営業職

**【家族】** 妻（40歳パート勤務）、長男（8歳）、長女（6歳）と四人暮らし。

**【住居】** 1年前にAさん名義で戸建てマイホームを新築。

**【仕事】** Aさんは大学卒業して、X電工に就職。

勤続18年。現在は営業担当で県外の出張も多い。

事故後に会社からは「治って戻ってくるのを待っている」と言われている。

## 【事故後の経過】

2021年6月30日、休日に趣味のサイクリングに出かけ、県道を直進中、左の路地からの一時停止無視の車と衝突。

昏睡状態となり病院に救急搬送。

病院到着時、Japan Coma Scaleで300

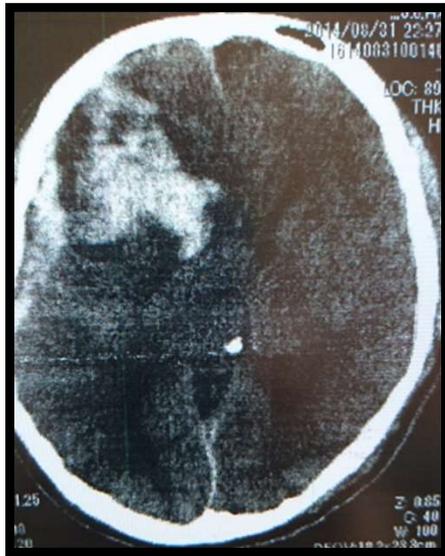
（昏睡、痛み刺激に開眼しない）であった。

脳CTで、重症頭部外傷、左大腿骨骨幹部骨折の診断。

気管切開、呼吸器管理、抗けいれん薬投与開始。



## (参考)



- 右前頭葉、右側頭葉内に外傷性血腫（挫傷）が広範に占拠。
- 救命されても、以下の障害が予測された。



- 左片麻痺
- 左視野障害（同名半盲）
- 注意集中力の低下
- 自発性の低下
- 計画的な行動の障害
- 感情コントロールの障害
- 病識低下
- 左半側空間無視

## ■ 急性期病院での経過

受傷1週間後に人工呼吸器から離脱。本格的なリハビリを開始。  
受傷2週間後から四肢をよく動かすようになった。栄養投与は、点滴から経鼻チューブに変更。この頃から意識回復し始め、受傷1ヶ月でリハビリテーション病院に転院となった。  
また左大腿骨骨幹部骨折に対しては、事故後介達牽引した後に観血的骨折整復術。以後荷重制限なし、創部のトラブルなし。  
(Aさんの治療費と休業損害は加害者側損保が支払い開始)

## ■ 回復期病院での経過～退院

当初は移動は車椅子で全介助であったが、長下肢装具で歩行リハビリを開始。  
自発性低下があったが、周囲からの指示は理解し、家族あての手紙を書いて書字練習。  
徐々に日常会話が可能となり、転院後6か月ほど経った2022年1月下旬に自宅退院。



？ 2022年2月27日時点で、Aさんは退院後1か月ほど経過しました。近所に住むAさんの母親が手伝いに来て、Aさんは自宅療養を続けています。

Aさんはまだ身体が不自由で、長下肢装具を装着し杖歩行、段差の昇降は困難、入浴は妻が介助しています。

また、家族との会話をすぐ忘れる、スケジュールどおりに行動できない、易疲労性、家族に対して暴言を言うことも出てきました。

退院後は、救急搬送先の病院の救急外来に一度受診、他は整形外科外来で経過観察となっています。

Aさんの支援をどの様に進めれば良いのでしょうか？

？ 本件加害者側損保から、治療費と休業損害が支払われています。Aさんは早く復職したいと希望していますが、家族は無理ではないかと思っています。

Aさんの療養期間について、会社とどの様に話し合えば良いのでしょうか？

また、Aさん宅の生活費はどの様に補償されるのでしょうか？

